

家庭教育學級活動報告

家庭教育学級は毎年5月から翌年2月まで、町内の幼稚園・保育園・小学校・中学校で開催されています。子どもの生活環境や社会環境が変化している中、保護者と子どもが体験活動などを通じて家庭教育の重要性を学んでいます。

今回は各学級の年間活動と活動内容を一部紹介します。

生涯学習センター [028(677)0306]

各学級の年間活動

■ 内は各学級の主題



活動紹介

芳賀東小学校

芳賀北小学校

活動紹介

フルーツポンチ作りです。子どもたちが楽しく調理に参加

のこの講話が親子の会話を生み、トラブルのない携帯電話の利用につながっていくことだと思います。

■のぶ幼稚園家庭教育学級
10月6日、真岡警察署・真岡消防署見学が行われました。警察署では、子どもたちが誘拐されないための合言葉「いかのおすし」※を教えていただきました。子どもたちが最も目を輝かせたのはパトカーと白バイ見学。会場は白バイに乗つたうれしそうな子どもたちを撮影するフラッシュの嵐となりました。

消防署では通報システムについての説明に、保護者が真剣な表情で聞き入っていました。その後、救急車とはしご

いかが知らない人についていかない
の他人の車にのらない
おおおしきを出す
すべく逃げる
何があつたらすぐしりせる



■芳賀中学校家庭教育学級
開講式に併せて行われた講話は、芳賀中学校の生徒指導主事より「携帯電話の功罪」という内容でした。また、話に先立ち「ケータイ・ネット社会の落とし穴／ネット社会の道しるべ」を視聴しました。

情報社会の現代、携帯電話を持つている中学生は多く、情報モラルを身につけることは絶対に必要なことです。しかし、生徒は楽しく便利に使うことに心を奪われ、「情報モラル」にまで、考えが及びません。何か問題が起きてから事の重大さを知ることになるということも十分あり得ます。また、保護者は「子どもがどのように使っているか分からない」「携帯電話の危険な面の理解も不十分」という現状があります。家庭教育学級